

ひるば

巻頭言

これからの公民館に

期待すること



大分県公民館連合会

会長 中野 五郎

皆様には、平素から公民館活動をと
おして心豊かな人づくり、地域の活
性をめざし、生活文化の振興や社会福
祉の増進等に御尽力いただいております
ことに、改めて敬意を表しますと
ともに、厚く御礼申し上げます。

また、昨年8月に開催された、第六十
回九州地区公民館研究大会大分大会は、
皆様方の御尽力により県内外から約二千
名の方々の御参加のもと、無事成功裡
に終えることができました。

深く感謝申し上げますとともに、皆様
方におかれましては、本大会で得られた
成果を糧として、今後も地域課題の解決
に一層の取組をお願いいたします。

さて、国民の教養文化を高め、町村
の自治向上の基盤となり、産業振興の
基礎を培うことを目的に戦後間もなく
誕生した公民館は、住民の学習ニーズ
にこたえるため、青年団、婦人会等の活

気ある活動や協力のもと、講座の開設
等、事業の実施を主体とした地域住民
の交流や学びの場として地域の活性化
に大きく貢献をいたしました。

しかしながら、情報化の進展による
住民の学習ニーズの多様化と学習機会
の増大、過疎化や少子高齢化等により、
かつての社会教育関係団体も活気が薄
れてくる等、公民館に求められる役割
や事業の在り方等が見直しを迫られて
おります。

このような中、これからの公民館に
は、住民への多様な学習機会の提供、
家庭教育の支援、学校・家庭・地域社
会の連携の推進等、「人づくり」、「ま
ちづくり」の拠点施設としての機能の
充実が求められています。とりわけ、
教育環境、文化環境、自然環境を整え、
まち全体を「まなびや」とし、郷土に
誇りを持てるまちづくりを進めていく

のは地域の大人の責任であり、ひいて
は地域の生涯学習・社会教育の推進の
中核的な施設である公民館の果たすべ
き役割でもあります。

今まさに、私も公民館関係者は、
自らの専門性を高めるとともに、地域
性・生活課題を踏まえ、地域住民の潜
在的な要求を十分に把握し、事業の成
果等について点検・評価を行うことに
より事業の水準の向上を図るとともに、
公民館の運営の工夫や改善、地域住民
その他の関係者との連携及び協力を推
進していかなければなりません。

また、学校や家庭への支援、地域住
民が学習の成果を生かして活動する機
会の提供といった新たな役割を果たす
一方で、社会の要請に基づく真に必要
な講座等は継続していくなど、不易・
流行を考えながら公民館の運営を行い、
「地域の教育力の向上」や「社会全体の
教育力の向上」に寄与していけるよう
力を尽くしていくことが必要です。

県公民館連合会といたしましては、
今後も、皆様方のお力添えをいただき
とともに、県教育委員会と連携・協力
しながら、関係各方面に向けた公民館
活動の重要性についての啓発、公民館
の活性化に資する研修等の充実を図る
等、県内の公民館活動の活性化に努め
てまいります。

終わりに、皆様方により一層の御健
勝、御活躍を祈念申し上げます、ごあいさ
ついたします。

今回は豊肥地区(竹田・豊後大野)と、日田地区(日田・玖珠・九重)です。

豊肥地区公民館連合会

豊肥地区公民館連合会(豊公連)は、竹田市と豊後大野市の公民館で組織し、公民館活動を推進するための意見交換や、職員の高質向上を目的とした研修会を行っている。

豊公連のメンバーは、社会教育に携わる職員で構成している「豊肥地区社会人権教育研究会(社人研)」も兼ねており、社会教育の立場から人権問題の学習を進めている。

本年度は、朝地町で開催された「豊後大野市人権・同和教育研究大会」に、研修の一環として参加した。「みんなで力を合わせ、心豊かな明るい町づくり」を統一テーマに、学校教育部からは朝地小・中学校の取組について、社会教育部からは人権・同和教育の取組について発表があった。それぞれの発表に、人権教育の重要性を感じた研修会となった。

また、豊公連の第二回目の研修として、交流分析士の工藤マリ先生を招き「背広を脱いだ自分を見つめて」というテーマで講演をしていただいた。交流分析という自己発見・自己開発を目的としたこの講演は、自らを振り返るいい機会となった。

合併以降、どの市でも行財政改革により人員・予算が削減されて



豊後大野市人権・同和教育研究大会



第2回豊公連研修会

いく中で、いかに住民のニーズに応えていくか。どの公民館でも課題は多く残されているが、職員同士の間で連携を図りながら、今後も効果的な事業推進の工夫に努め、公民館が市全体の活力を生み出す拠点となるような取組を進めていきたい。

豊肥地区公民館連合会
会長 阿南 鋼一

「人が育ち、人が集い、人が助け合う公民館の在り方」

九州地区公民館研究大会 大分大会の開催

平成21年8月27日～28日にわたり、別府市において、県内外から二千人に及ぶ関係者が参加して盛大に開催された。



各分科会の概要

第1分科会

公民館の管理運営

- ・地域づくりの拠点に自治公民館を据え、地域住民を代表する公民館運営審議会の委員が徹底した住民目線で関わろうとしていること
- ・住民参加による地域づくりを実現することに他ならない。
- ・地域住民参画型による協働とは、(行政(公民館)・地域・講師(ボランティア)等が協力し合うことである。

第2分科会

地域教育力の向上

- ・もつと発想の転換をして事業の見直しを進め、さらに地区公民館と自治公民館の関係を整理し、パイプを強化することが必要である。

第3分科会

家庭教育

- ・日常的に公民館が地域団体と一緒に事業をつくっていく姿勢をもつことが重要である。
- ・今後の公民館の取組は、今までの考え方を換え、人をたくさん集めることよりも、少人数でも人々を結びつけることを大事にしていたらいい。

第4分科会

成人教育

- ・これからの公民館で大事なものは情報提供である。住民はどの誰に相談すればよいかわからない。それをつなぐ施設が公民館である。
- ・社会のニーズにあった学習課題、地域課題に関する講座、企業と地域の連携を図る講座等を企画することも必要である。
- ・地域づくりをすすめるためには、高齢者がリーダーとなりえる人材づくりも必要である。受講生が受け身ではなく、主体的にこういう風なことをやりたいといった意見が出るのが大事である。

第5分科会

地域づくり(フィールドワーク)

- ・地域があつて観光がある。住民

がまちを誇りに思い、住民が自立していかなければリーダーは来ない。

・自分たちの住む地域の魅力を再発見するには、事業を単発ではなく、継続的に行うことが必要である。

第6分科会

人権教育

- ・公民館活動全ての根底に人権教育がある。講座の全てが人権感覚に支えられた人権意識を持つた講座だという捉え方が必要である。
- ・人権講座の手法の方向性は、一つは参加した人が人権を知る、理解する学習であり、もう一つは人権

問題のない明るい社会にするために自分の生き方を学ぶ学習である。

第7分科会

自治公民館活動

- ・地道な取組で地域は少しずつ変わっていく。子どもが安心して元気に生活でき、それを大人が笑顔で支えていけば地域は元気になる。保護者と連携して、高齢者の力を活用し、地域づくりを協働して進めるべきである。
- ・自治公民館活動は地域活動の核である。国、県、市町村、自治会が上下関係や予算のあるなしでつながるのではなく、地域づくりのために全ての組織が連携することが大事である。

記念講演の概要

演題 「家庭・学校・地域づくりを支援する公民館の活動」

講師 明石 要一氏(千葉大学教育学部教授)

家庭・学校・地域を取り巻く時代は早いテンポで変わっており、何よりも地域と親が変わった。今の子どもが抱える課題は経済格差に伴う「体験格差」であり、それを是正するためには公民館が地域の教育力を結集して、子どもの放課後を豊かにする空間を提供する必要がある。



明石 要一氏

日田地区公民館連合会

日田地区公民館連合会は関係職員相互の連携と資力の向上を図り、生涯学習の推進を目的に活動を行っている。組織の構成は日田市生涯学習課、中央公民館、地区公民館の二十館及び二分館と玖珠町の中央公民館、九重町の中央公民館と四館の地区公民館で構成され、独自の事業活動を行っている。

実践事例として九重町の取組を紹介したい。九重町においては、平成十一年に竣工した文化センターに中央公民館を設置し職員を集約化を図り、四館の地区公民館に嘱託館長の配置をおこなった。しかし活動は衰退の一途を辿り、平成二十年十二月から中央公民館及び社会教育担当職員による「出張公民館事業」を週二日実施し、嘱託館長と連携を深めることにより事業活動を行っている。

また、平成二十一年度から、町が提唱している「日本の田舎づくり」の館として、四館の地区公民館を位置づけ活動している。「公民館の再編」としては課題が多くあるが職員配置等視野に入れた再編の取組を考えている。

日田地区公民館連合会では年間一、二回の研修事業を実施している。平成二十一年度の取組としては、八月に開催された第六十回九州地区公民館研究大会大分大会へ

の参加(第六分科会「人権教育」の運営・事例発表等)と、十月に、日田地区公連を組織する全職員を対象とした職員研修会を開催した。

人権問題の学習は活動のマンネリ化や地域により「温度差」を生じており、公民館が住民参加の学習会や推進組織への支援を積極的に行い、問題解決の場となること

が求められている中、「公民館における人権問題学習『思い』に寄り添う」をテーマとして九重町の社会教育委員の小幡千穂さんを講師として講演会を行った。

講演では講師自身が九重町の公民館主事だった頃の婦人学級や青年団、子ども会とのかかわりや、初めて体験した解放学習への取組等の講話をしていただいた。公民館では「人権をばた懇談会の実施」「人権学習を教室や講座に位置づける」「館内での標語の展示や人権パネル展の実施」「団体や関係機関との連携」等を行うことと、日常生活の中で感性を磨く訓練を行い、多くのことに関心や関わりを持つことで、職員の高質の向上につながり、公民館での人権学習を推進することが可能となるなどの教授をいただいた。

日田地区公民館連合会
会長 甲斐 秀一